

チャレンジプランの進行管理について（政策評価）

1 政策評価の概要

(1) 目的

① 説明責任の徹底

突破プロジェクトや重点施策等の進捗状況をわかりやすく示すことにより、県民に対する説明責任を徹底する。

② 県民の視点に立った行政サービスの向上

事業の改善、改善方向に基づいた実施、さらなる評価という一連の取組を繰り返すことにより、県民の視点に立った行政サービスの向上を図る。

③ 「活力みなぎる山口県」に向けた施策推進

チャレンジプランに掲げる突破プロジェクトの達成状況の把握、重点施策の点検等を行うことにより、「活力みなぎる山口県」の実現に向けた施策の着実な推進を図る。

(2) 手法

① 重点施策や活力指標の進捗状況、県政世論調査結果の整理

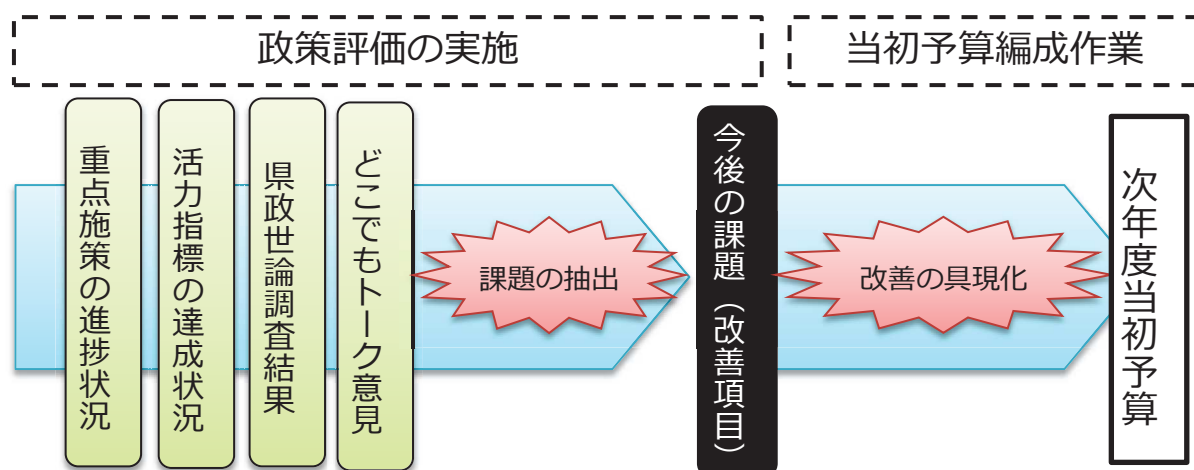
チャレンジプランを着実に推進するため、重点施策の進捗状況をチェックするとともに、活力指標の達成状況、県政世論調査の結果を整理する。

② 課題（改善項目）の抽出

①及び「元気創出！どこでもトーク」で出された意見を踏まえ、各重点施策・突破プロジェクトにおける今後の課題（改善項目）を整理する。

③ 改善の具現化

29年度当初予算編成作業において、次年度に向けた改善の具現化を図る。



《参考》「総合戦略」の進行管理

チャレンジプランに掲げた取組のうち地方創生に資する施策を戦略化した「山口県まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、この政策評価により、一体的に進行管理を行う。

2 結果の概要

① 世界に広がる産業力強化プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	0	
目標ペースを上回る	2	「石炭輸入量」等
ほぼ目標ペース	3	「新規投資件数」「新規雇用創出数」等
目標ペースを下回る	0	
目標ペースから大幅に遅れ	1	「工業出荷額」

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかとい えばそう思う	・どちらともい えない	・そうは思わな い ・どちらかとい えばそうは思 わない
港湾や幹線道路、工業用水などの産業基盤の整備が進んでいる		49.0	33.7	13.6
新たな工場・事業所などの進出や、企業の設備の増設などが進んでいる		15.9	41.9	38.7

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 本県の競争力を強化するため、引き続き、港湾施設の整備や物流等基盤の強化に資する幹線道路網の整備を促進する必要がある。
- 周南地区の新たな水資源対策である島田川分水事業について、平成 32 年当初の給水開始に向け計画的な事業推進を図る必要がある。
- 若者や女性に魅力ある雇用の場の創出に向け、本県の立地環境や優遇制度を広く発信し、戦略的な誘致活動を推進する必要がある。

② 次世代の産業育成プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	0	
目標ペースを上回る	2	「環境・エネルギー分野での事業化件数」等
ほぼ目標ペース	1	「新規雇用創出数」
目標ペースを下回る	1	「医療関連分野での事業化件数」
目標ペースから大幅に遅れ	2	「水素利活用による事業化件数」等

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかとい えばそう思う	・どちらともい えない	・そうは思わな い ・どちらかとい えばそうは思わ ない
医療・環境関連産業や水素の利活用など、今後、発展が期待できる産業の育成や集積が進んでいる		15.8	46.2	34.4

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 企業等における研究開発は概ね順調に進んでおり、今後、事業化や裾野の拡大に向けた取組の加速化を図ることが必要である。
- 森林バイオマスの活用や小水力発電の導入など、再生可能エネルギーの導入促進に、引き続き取り組んでいく必要がある。
- 廃棄物等の 3R に係る技術開発から製品認定・普及までの各段階における切れ目ない支援等により、資源循環型産業の活性化を図る必要がある。
- 今後も水素供給インフラの整備が必要である。

③ 挑戦する中堅・中小企業応援プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	1	「山口県技術革新計画を達成した企業の割合」
目標ペースを上回る	4	「女性創業セミナーの受講による創業数」等
ほぼ目標ペース	6	「やまぐち夢づくり産業支援ファンドによる投資件数」等
目標ペースを下回る	2	「農商工等連携事業計画認定件数」等
目標ペースから大幅に遅れ	1	「工業出荷額」

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかとい えばそう思う	・どちらともい えない	・そうは思わな い ・どちらかとい えばそうは思 わない
意欲ある人材が「創業」（起業）しやすい環境づくりが進んでいる		9.8	45.4	40.8
意欲的な中堅・中小企業の経営革新や技術開発を支援するための取組が進んでいる		8.8	50.8	36.3
商業・サービス業の振興に向けた取組が進んでいる		11.0	45.7	39.4
本県の産業を担う人材の育成や確保に向けた取組が進んでいる		9.1	49.3	37.5

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 各種創業セミナー受講者の円滑な創業への移行や女性創業応援ややまぐち株式会社の支援による女性のビジネスプランを着実に進める必要がある。
- 企業の事業拡大等を図るための「ものづくり企業」への重点的な支援のほか、新規事業の拡大等により、中小企業の中堅・中核企業へのステップアップの支援を推進する必要がある。
- 商店街の賑わい回復等に向けた取組の支援や、女性や若者等のニーズに対応した雇用の場の創出が必要である。
- 産業界のニーズに応じた人材や、ものづくり産業を担う中核人材等の育成が必要である。
- 建設産業担い手確保・育成協議会を核にした、行政と業界の一体的な取組が必要である。

④ 元気な農林水産業育成プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	1	「農林水産物の輸出による売込商品数」
目標ペースを上回る	4	「6次産業化・農商工連携による新商品開発件数」等
ほぼ目標ペース	12	「起業した女性グループ等の法人数」等
目標ペースを下回る	0	
目標ペースから大幅に遅れ	0	

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかとい えばそう思う	・どちらともい えない	・そうは思わな い ・どちらかとい えばそうは思 わない
地産・地消や大都市圏・海外への販路拡大、担い手の確保など、農林水産業を振興するための取組が進んでいる		19.2	45.5	31.4
農林水産業者自らが加工、流通・販売などに取り組む6次産業化や農商工連携の取組が進んでいる		16.5	51.3	28.5

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 県産農林水産物の販路拡大を進めるため、情報発信の強化によるブランド力の向上や意欲ある事業者の販路開拓支援等を一層進める必要がある。
- 県内外でのPRの強化による新規就業者の人材確保や、集落営農法人の育成を加速化する必要がある。
- 国のTPP協定を踏まえた緊急の課題に対応するため、集落営農法人連合体の育成などによる経営安定対策と、農産物のブランド化などによる競争力強化対策の2本柱が必要である。
- 担い手への農地集積等を図るため、区画整理や水田高機能化対策の継続が必要である。

⑤ 山口の魅力発信・観光力強化プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	0	
目標ペースを上回る	3	「延べ宿泊者数」等
ほぼ目標ペース	1	「新規雇用創出数」
目標ペースを下回る	0	
目標ペースから大幅に遅れ	1	「県ホームページへのアクセス数」

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかとい えばそう思う	・どちらともい えない	・そうは思わな い ・どちらかとい えばそうは思 わない
首都圏や関西圏などに、山口県の魅力や県産品を売り込むための取組が進んでいる		27.0	40.2	29.1
観光資源やおもてなしの充実など、観光客を増加させるための取組が進んでいる		33.3	37.9	24.9

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 東京・大阪営業本部における営業機能を最大限発揮し、総合的な売り込みを進めていく必要がある。
- パブリシティセンターと東京・大阪営業本部が連携し、山口県の魅力について首都圏等のメディアへの売り込みを強化していくことが必要である。
- 「やまぐちDMO」の形成・確立とあわせ、観光資源の充実など、魅力ある観光地域づくりに向けた取組の更なる強化と、より訴求力の高いプロモーション活動の展開が必要である。
- 明治150年（平成30年）に向けた県内での普及・啓発活動を一層加速させ、県外に向けても、山口県の取組を強くアピールすることで、全国的機運の醸成を図るとともに、交流の拡大による地域活性化につなげることが必要である。
- 外国人観光客数倍増に向けて、主要市場の実情に応じた効果的な情報発信の強化や受入環境の整備が必要である。

⑥ 暮らしやすいまちづくり推進プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	2	「コンパクトなまちづくりに資する計画策定市町数」等
目標ペースを上回る	2	「国道・県道の整備完了延長」等
ほぼ目標ペース	1	「主要渋滞箇所数」
目標ペースを下回る	1	「空港の利用客数」
目標ペースから大幅に遅れ	0	

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかとい えばそう思う	・どちらともい えない	・そうは思わな い ・どちらかとい えばそうは思 わない
まちの拠点に生活に必要な福祉・商業施設などを集約するコンパクトなまちづくりが進んでいる		17.9	39.4	38.0
暮らしを支える道路網の整備や公共交通機関の利便性向上のための取組が進んでいる		41.8	29.7	24.3

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- コンパクトなまちづくりの取組を着実に進めるとともに、多くの市町が立地適正化計画等の策定に取り組むよう、普及啓発に努める必要がある。
- 引き続き、地域や産業の活力を創出する上で重要な基盤である道路網の整備を推進する必要がある。
- 山口宇部空港・岩国錦帯橋空港の利用促進の取組の強化や、国際定期便の実現に向けた連続チャーター便の誘致拡大が必要である。

⑦ 地域の元気創出応援プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	0	
目標ペースを上回る	3	「農山漁村交流滞在人口」等
ほぼ目標ペース	5	「地域おこし協力隊員数」等
目標ペースを下回る	1	「農林漁家民宿数」
目標ペースから大幅に遅れ	1	「Uターン就職学生数」

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)		
	・そう思う ・どちらかといえば ・そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば ・そうは思わない
中山間地域の暮らしを守り、地域づくりを支援する取組が進んでいる	10.6	48.3	35.9
NPO、ボランティアなどによる県民活動や住民による見守り活動が活発に行われている	24.8	46.1	24.6
中山間地域の地域資源を活用して、農林漁業などの体験を伴う修学旅行の受入など、新たなビジネスを行うための取組が進んでいる	10.9	47.5	36.9
県外からの移住・定住者を増やすための取組（U・Iターンなど）が進んでいる	16.0	44.5	34.9

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 「やまぐち元気生活圏」づくりの一層の推進を図るため、市町による推進方針の策定や地域が行う自主的・主体的な取組に対する支援の充実を図る必要がある。
- 県民活動の活発化を図るため、やまぐち社会貢献活動支援ネットの利用促進と、県民活動団体の基盤強化に継続して取り組む必要がある。
- さらなる移住促進のため、「やまぐち暮らし」の多彩な魅力をPRするとともに、受入支援の一層の充実を図ることが必要である。
- 体験型教育旅行の受入拡大のため、受入地域協議会の新規設立や連携体制の確立が必要である。
- 国の基本方針に基づく政府機関等の移転の早期実現と、移転効果の最大限の発揮に向け、引き続き積極的な取組に努める。

⑧ ふるさとの自然環境保全プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	1	「EV急速充電器の設置数」
目標ペースを上回る	2	「再生可能エネルギーの発電出力」等
ほぼ目標ペース	4	「保健所に引き取られる犬・猫の数」等
目標ペースを下回る	1	「多量排出事業者の産業廃棄物の最終処分量」
目標ペースから大幅に遅れ	0	

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)		
	・そう思う ・どちらかといえば ・そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば ・そうは思わない
再生可能エネルギーの導入促進や地球温暖化対策の取組が進んでいる	16.9	47.7	30.9
廃棄物の削減に向けたリサイクルなどの対策や廃棄物の適正処理の取組が進んでいる	30.9	44.5	20.3
自然環境や大気・水環境等の保全に向けた取組が進んでいる	19.8	52.8	22.8

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 森林バイオマスの活用や小水力発電の導入促進など、再生可能エネルギーの導入を進める必要がある。
- ごみの減量化、海洋ごみ対策、災害時の廃棄物処理対策等、廃棄物の3Rや適正処理の推進に引き続き取り組む必要がある。
- 犬猫の引取り・殺処分数の削減に向けた地域猫活動の取組、犬猫の譲渡促進や、野生鳥獣の適正管理に向けた捕獲等の担い手の確保・育成、捕獲体制の強化等が必要である。
- 環境基準の達成率維持・向上のため、引き続き工場・事業場に対する監視指導を徹底する必要がある。

⑨ 子育てしやすい環境づくり推進プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	3	「延長保育実施箇所数」等
目標ペースを上回る	1	「小児救急医療電話相談の件数」
ほぼ目標ペース	5	「放課後児童クラブ実施箇所数」等
目標ペースを下回る	1	「やまぐちイクメン応援企業宣言登録企業数」
目標ペースから大幅に遅れ	1	「男性の育児休業取得率」

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかとい えばそう思う	・どちらともい えない	・そうは思わな い ・どちらかとい えばそうは思 わない
結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための支援が進んでいる		17.3	44.2	34.2
安心して子どもを生み育てるための周産期・小児医療体制の整備などが進んでいる		19.1	42.9	33.5

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 結婚から妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援をより一層強化する必要がある。
- 小児科・産婦人科の医師確保や助産師の活用など、周産期医療体制の充実を図る必要がある。
- 児童虐待について発生予防から自立支援まで一連の対策のさらなる強化等を図るため、児童相談所の更なる体制の強化等を図っていく必要がある。
- 社会的養護の充実に向けて、里親の登録を増やすとともに、良好なマッチング先の増加など里親委託の推進に向けての里親の総合支援を行う必要がある。

⑩ 次代を拓く教育充実プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	1	「大学生等の県内就職割合」
目標ペースを上回る	1	「コミュニティ・スクールの設置率」
ほぼ目標ペース	5	「全国学力・学習状況調査正答率の全国平均との差」等
目標ペースを下回る	0	
目標ペースから大幅に遅れ	0	

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかとい えばそう思う	・どちらともい えない	・そうは思わな い ・どちらかとい えばそうは思 わない
地域とともにある学校づくりを進める「コミュニティ・スクール」の設置など、子どもたちの豊かな心の育成や、たくましい体づくりに向けた取組が進んでいる		24.5	46.5	24.4
子どもたちの学力向上に向けたきめ細かな学習指導ができる体制の整備が進んでいる		16.0	51.3	27.9
相談・支援体制の充実など、いじめ、不登校対策が進んでいる		11.9	52.8	30.5
特色ある学校づくりなど、学校の教育環境の整備が進んでいる		15.7	52.0	27.5
大学などが参画した地域づくり活動など、大学などによる地域貢献や地域活性化の取組が進んでいる		17.7	47.3	29.8

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 「コミュニティ・スクール」と「地域協育ネット」を一体的に推進し、家庭教育支援チームの設置促進の取組が必要である。
- 小・中学生の学力向上に向け、引き続き、授業改善に係る教員研修の充実や指導方法の改善が必要である。
- グローバル人材の育成など、世界スカウトジャンボリーの成果を活かした取組が必要である。
- キャリア教育の一層の充実に向けて、引き続き、全県的な推進体制の強化等が必要である。
- 少人数教育や総合支援学校でのICTの効果的な活用、いじめ等の問題行動や不登校等の解決に向けた取組の充実を図る必要がある。
- 産学公が連携し、学生の県内就職・定着に向けた取組を一層推進する必要がある。
- 県民の多様な教育ニーズに対応するため、私立学校に対し引き続き支援を行う必要がある。

⑪ みんなが活躍できる地域社会の実現プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	2	「県立美術館の入館者数」等
目標ペースを上回る	3	「我がまちスポーツの取組への参加者数」等
ほぼ目標ペース	8	「やまぐち子育て応援企業宣言届出企業数」等
目標ペースを下回る	1	「やまぐちイクメン応援企業宣言登録企業数」
目標ペースから大幅に遅れ	2	「キラリンピック参加者数」等

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかといえば ・そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば ・そうは思わない
男女が性別にかかわらず、個性や能力を発揮できる社会づくりが進んでいる		16.5	51.0	27.1
若者の就職支援など、県民の暮らしを支える雇用の場の確保に向けた取組が進んでいる		13.2	48.0	33.9
高齢者などシニアが、スポーツ・文化活動や社会貢献活動などに活躍することができる社会づくりが進んでいる		35.7	42.6	17.0
地域生活や就労などで、障害のある人が、障害の程度や特性などに応じて活躍することができる社会づくりが進んでいる		18.5	52.5	24.2
文化・芸術活動が盛んに行われている		28.2	46.6	20.7
スポーツ活動が盛んに行われている		34.4	43.6	17.5

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 女性の活躍促進に向け、ポジティブ・アクションの取組支援の充実などが必要である。
- ねんりんピックの成果を継承・発展させ、高齢者の社会参加や社会貢献活動を一層促進することが必要である。
- 障害福祉サービスの提供体制の充実に向け、市町や事業者との一層の連携強化が必要である。

⑫ 災害に強い県づくり推進プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	0	
目標ペースを上回る	2	「ハザードマップ整備市町数」等
ほぼ目標ペース	9	「県立学校の耐震化率」等
目標ペースを下回る	1	「市町立学校の耐震化率」
目標ペースから大幅に遅れ	0	

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかといえば ・そう思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえば ・そうは思わない
大雨、台風、地震などに対する防災・減災対策やインフラの老朽化対策が進んでいる		22.7	42.6	30.1
学校やホテル・旅館、住宅など、建築物の耐震化が進んでいる		24.6	41.4	29.5
地域における防災活動や防災の担い手づくりに向けた取組が進んでいる		18.0	49.9	27.4

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 大規模な自然災害等に迅速・的確に対応するため、ハード・ソフト両面から防災・危機管理体制の充実・強化を図っていく必要がある。
- 公共土木施設等は今後急速に老朽化することが懸念されるため、個別施設計画の策定を進め、維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図るとともに、公共土木施設等の維持管理・更新を確実に実施する必要がある。
- 南海トラフ地震等に備え、公共施設等の耐震化を推進していく必要がある。
- 地域ぐるみによる防災活動を支援し、引き続き、地域防災力を充実強化する必要がある。

⑬ 安心の保健・医療・介護充実プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	0	
目標ペースを上回る	4	「地域包括支援センターの設置数」等
ほぼ目標ペース	4	「健康寿命」等
目標ペースを下回る	3	「在宅療養支援病院数・診療所数」等
目標ペースから大幅に遅れ	0	

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)		
	・そう思う ・どちらかといえばそう 思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえばそう は思わない
地域において保健・医療サービスの提供を受けられる体制の整備が進んでいる	23.9	45.6	26.0
医療や介護が必要になっても、高齢者が地域で安心して生活できる体制の整備が進んでいる	17.7	43.5	34.5
生活習慣病の予防など、県民の健康づくりに向けた対策が進んでいる	27.0	48.9	19.9

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 医師の地域・診療科偏在の解消に向けた継続的な取組が必要である。
- 在宅医療のニーズの増加など看護職員の需要の増加が見込まれることから、引き続き、総合的な確保対策の取組が必要である。
- がん死亡率の減少に向け、がん検診による早期発見、がん医療の質的な充実、がん患者の苦痛の軽減等、一層の取組が必要である。
- 救急医療体制の充実に向け、引き続き、適正受診の普及啓発や医療機関・消防機関の連携強化等の取組が必要である。
- 高齢者が地域で適切な医療・介護サービスを円滑に受けられるよう、医療と介護の一層の連携及び介護人材の確保・育成が必要である。
- 行政、医療保険者、企業の連携により、社会全体で継続して健康づくりに取り組む仕組みづくりと意識の醸成が必要である。

⑭ 日々の暮らし安心・安全確保プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	0	
目標ペースを上回る	4	「消費生活相談員配置市町数」等
ほぼ目標ペース	5	「食中毒発生件数」等
目標ペースを下回る	0	
目標ペースから大幅に遅れ	2	「振り込め詐欺等特殊詐欺」等

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)		
	・そう思う ・どちらかといえばそう 思う	・どちらともいえない	・そうは思わない ・どちらかといえばそう は思わない
食や消費生活の安心・安全の確保に向けた対策が進んでいる	21.9	55.0	18.7
事件・事故防止対策など、安全で安心して暮らせる社会づくりに向けた対策が進んでいる	19.4	55.3	20.9

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 食品検査の継続的な実施や、食品関係事業者による衛生管理の高度化、表示適正化に向けた自主的な取組を促進する必要がある。
- 消費生活について、引き続き、専門相談員による相談体制の構築を促進していく必要がある。
- 県民の自主防犯力や地域主体の防犯活動を強化するための対策を推進する必要がある。
- 子ども・高齢者等を交通事故から守り、安全で円滑な交通を確保するため、引き続き、通学路における歩道整備等を推進する必要がある。
- 建替整備が必要な交番等の施設が年々増加する現状を踏まえ、更なる計画的な整備が必要である。

⑮ 持続可能な行財政基盤強化プロジェクト

【活力指標の進捗状況】

達成状況	項目数	主な指標
目標達成	0	
目標ペースを上回る	0	
ほぼ目標ペース	3	「一般分の県債残高」等
目標ペースを下回る	0	
目標ペースから大幅に遅れ	0	

【県政世論調査の結果】

調査項目	(単位：%)	・そう思う ・どちらかとい えばそう思う	・どちらともい えない	・そうは思わな い ・どちらかとい えばそうは思 わない
県と市町が連携・協力して様々な事業に取り組み、住み良い地域づくりが進んでいる		16.8	54.0	24.8
県の職員数の適正管理や財政の健全化など、県の行財政基盤の強化に向けた取組が進んでいる		11.1	54.6	29.6

【プロジェクトにおける今後の展開方向】

- 簡素・効率的で活力のある組織づくりに向け、今後とも不断の行政改革の取組を行っていく必要がある。
- 公債費負担を軽減し、財政運営の健全性と自由度を高めるため、引き続き、公共事業等の投資水準の適正化を図り、一般分の県債残高の縮減を推進する。
- 年度間の財源調整等に必要な一定規模の基金残高（100億円以上）の確保に向けて、平成28年度の予算執行段階においても財源確保の取組を継続する。